

# 大谷幼稚園 4月のおたより

「新年度を迎えて」

園長 たなか たかあき  
田中 貴章

大谷幼稚園の保護者の皆さま、こんにちは。園長の田中です。今年で大谷幼稚園の園長を拝命しまして2年目を迎えました。どうぞ宜しくお願いします。私は、毎月発行されるこの「学年だより」に、皆さまにお伝えしたいことや、自分の思いなどを毎回このような文章にします。どうかお読みいただき、ご意見、ご感想、ご質問などをいただくきっかけになれば幸いです。さて、平成29年の4月を迎え、新しいお友達が加わって大谷幼稚園がスタートしました。進級児のお子さまは、担任の先生やお教室が変わり、気持ち新たに園生活が始まりました。新入園児のお子さまは、最初の1週間はまだ自分の置かれた環境変化の把握が難しく、2週間目あたりから徐々に登園の拒否反応が出てくる傾向があります。お子さまにとっても保護者さまにとっても園生活が始まることは、生活環境が大きく変わる訳ですから、拒否的反応が出ることの方がむしろ自然なことなのかもしれません。担任からも園生活でのお子さまの様子についてお電話でお伝えしてまいります。気になることがありましたら保護者さまからもお気軽にお電話いただければと思います。以前の学校評価のアンケートの中でも、職員と保護者さまの間に距離を感じるとのご意見をいただきました。保護者さまそれぞれがお考えになる職員との距離感があると思いますが、今年度は何かあった時だけの連絡ではなく、何もなくても普段のお子さまの様子をお伝えして保護者さまとのコミュニケーションをとらせていただければと思っております。先日17日には、第1回目のクラス委員会を開催いたしました。今年度は、前年度と比べ、倍以上の保護者の皆さまにクラス委員としてお集まりいただきました。大変ありがたく思っております。増員に伴い会合の回数も増やし、より多くの保護者さまの意見に耳を傾け、コミュニケーションを深めていき、大いに園の運営に生かしていきたいと思っております。幼稚園は学校機関として幼児期の子どもに対し、幼稚園教育要領に則り教育を行う機能に加えて、保護者サービス機能を高め、子育て支援を行うことが求められています。現在、乳児、幼児のお子さまを受け入れる施設も多種多様となってきている中で、年々新たな保護者サービス機能が増加傾向にあります。教育機能、サービス機能のどちらも園を運営していく上で大切なものだと思いますが、あまりどちらかに偏るのではなく、双方のバランスを保つことが大切ではないでしょうか。その様な動向からも、保護者さまの意見に耳を傾け、コミュニケーションをとることは大変貴重なことと考えております。そしてコミュニケーションの場を活用して、これからの園生活で起こるであろう様々な事柄を「問題」と考えるのではなく、共通課題として受け止めていき、園と保護者さまの信頼関係を築いていきたいと思っております。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

